

## Ⅱ－3 広域若狭湾エリア

### ○エリアの方向性

- ・嶺南の豊かな自然や食を楽しみながら生活できるライフスタイル先進地「WAKASAリフレッシュエリア」の実現
- ・嶺南Eコースト計画に基づく研究開発・人材育成拠点やスマートエネルギーエリアの形成

#### (1) 若狭湾エリアの玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化(交通体系) (P60～61)

- ・広域バス路線の運行やJR小浜線の利便性向上
- ・エリア周遊を伸ばす二次交通の強化
- ・敦賀港の国際物流ターミナル機能等の強化
- ・県境を越えた鉄道接続の強化
- ・高規格道路や県境道路の整備

#### (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用

##### ①海湖と歴史を活かした交流の拡大(交流人口) (P62～66)

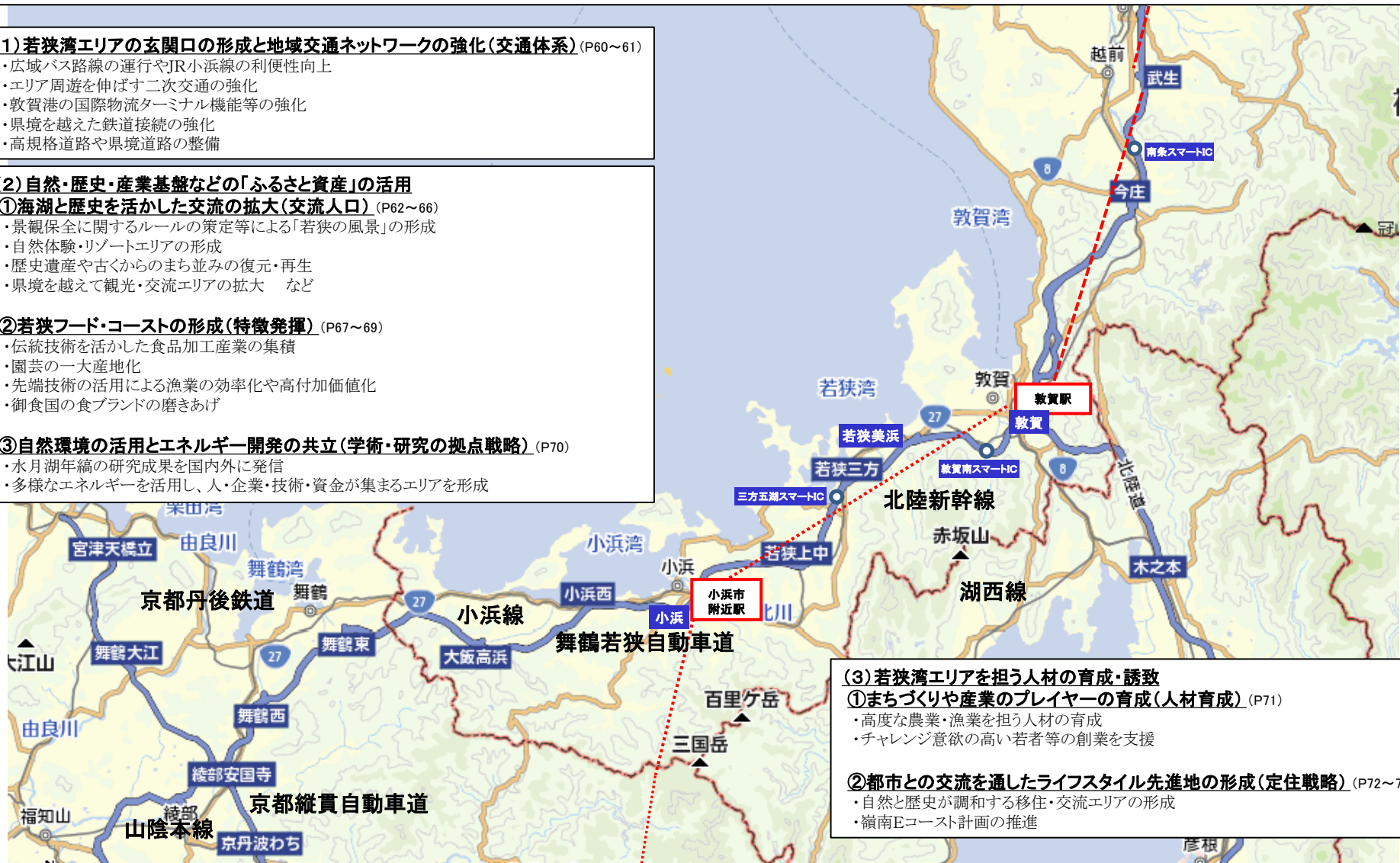
- ・景観保全に関するルールの策定等による「若狭の風景」の形成
- ・自然体験・リゾートエリアの形成
- ・歴史遺産や古くからのまち並みの復元・再生
- ・県境を越えて観光・交流エリアの拡大 など

##### ②若狭フード・コーストの形成(特徴発揮) (P67～69)

- ・伝統技術を活かした食品加工産業の集積
- ・園芸の一大産地化
- ・先端技術の活用による漁業の効率化や高付加価値化
- ・御食国の食ブランドの磨きあげ

##### ③自然環境の活用とエネルギー開発の共立(学術・研究の拠点戦略) (P70)

- ・水月湖年縞の研究成果を国内外に発信
- ・多様なエネルギーを活用し、人・企業・技術・資金が集まるエリアを形成



#### (3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致

##### ①まちづくりや産業のプレイヤーの育成(人材育成) (P71)

- ・高度な農業・漁業を担う人材の育成
- ・チャレンジ意欲の高い若者等の創業を支援

##### ②都市との交流を通じたライフスタイル先進地の形成(定住戦略) (P72～73)

- ・自然と歴史が調和する移住・交流エリアの形成
- ・嶺南Eコースト計画の推進

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業	
(1) 交通体系	県、市町、民間 — 敦賀市、民間 約25億円		敦賀南スマートICの整備									
	若狭町、民間 約27億円		三方五湖スマートICの整備									
	県 約2億円				内浦港ふ頭用地の拡張							
	敦賀市 約22億円				敦賀市第2産業団地の整備							
	おおい町 約8.5億円				おおい町しごとみらい産業団地の整備							
	国、県 約312億円								敦賀港鞠山南地区2期工事(～2027)			
	県、国、民間 —									広域道路の整備促進(舞鶴若狭自動車道4車線化、国道162号、岡田深谷線等)		
(2) ① 交流人口	国、県、美浜町 —				「はまびより」(道の駅)、農業人材育成拠点の整備							
	県、若狭町、美浜町、民間 約3.7億円			山頂公園の整備				山頂公園再整備 嶺南地域の結婚・婚活拠点の整備	三方五湖エリアの魅力向上			
	若狭町 約6.3億円							三方五湖有料道路の再整備				
	美浜町 —							若狭アドベンチャーツーリズム拠点整備				
	高浜町 約1.2億円							遊覧船の再開とレークセンターの再整備				
	高浜町 約20億円								ブルーフラッグ認証ビーチの発信、誘客への活用			
	県 約1億円								城山公園の再整備			
	おおい町 約13.6億円								成海緑地公園の再整備			
	県、市町 —									総合運動公園の合宿施設の拡充		
	県、市町、民間 —									嶺南広域サイクリングルートの整備		
										県域を越えた広域観光の促進		

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022(R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業
(2) ② 若狭フード・コースト	県 約10億円	園芸体験施設の整備									
	美浜町 約1.4億円		直売所・楽膳レストランの整備								
	高浜町 約0.5億円		葉草加工施設の整備								
	市町、民間	イチゴやブドウ等の体験・観光農園の整備									
	民間					スマート園芸施設の整備					
	県、市町、民間	大規模園芸施設の拡大									
	県 約7億円	ふくい水産振興センターの整備					水産学術産業拠点の整備				
	民間		スマート養殖設備の整備								
	県、高浜町 約24億円	高浜漁港の再整備									
	小浜市 約1.3億円	水産加工・体験施設の整備									
県 約0.5億円	ブランド魚の販路拡大(若狭ぐじ極、越前がれい極)、養殖生産の拡大(若狭まはた、ふくいサーモン、よっぱらいサバ、イワガキ等)										
市町、民間	シジミ・ウナギの漁獲量拡大										
(2) ③ 学術・研究の拠点戦略	県 約15億円	年縞博物館の整備		研究成果を国内外に発信							
	国	試験研究炉の設置に向けた検討、調査				概念設計		詳細設計を経て整備に着手			
	国、県	国際シンポジウムの誘致									
	敦賀市	ハーモニアスポーツ構想の策定			研究開発支援等、産業構造高度化、エネルギー多元化事業の実施			新産業創出支援、水素社会の形成を推進			

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業
(3) ① 人材育成	県 約3.9億円				福井県立大学 創造農学科の開設						
	県 —					福井県立大学 先端増養殖科学科の開設					
	おい町 約14.6億円			チャレンジショップの整備							
	県、美浜町、民間 —					園芸人材育成拠点(リースハウス等)の整備					
	県、市町 —	園芸カレッジや水産カレッジでの人材育成									
	若狭町 —		大学と連携した漁村の交流拡大								
(3) ② 定住戦略	小浜市 —					広域な自治体との連携による食関連産業の担い手(料理人、農業者)育成					
	市町、民間 —	古民家を改修した移住体験施設やシェアオフィス等の整備									
	市町、民間 —	小浜駅周辺の移住者向けスマートハウスの整備									
	県 —		就職希望創出型企業(IT・サービス業等の企業本社やサテライトオフィス)の誘致								
	県 約4億円				こども家族館のリニューアル						
	県、市町、民間 —				嶺南地域における「スマートエリア」の形成						
県、市町 —	MaaSや自動運転バス等、先端技術を活用した二次交通の充実										
市町、民間 —									駅に近接した子育て支援施設や医療機関等の整備		

# Ⅱ-3 (1) 若狭湾エリアの玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化 (交通体系)

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	～2024

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道27号金山バイパスの整備(国、～2014)</li> <li>・小浜線10駅でレンタサイクル整備(県・市町・民間、～2017)</li> <li>・嶺南地域公共交通網形成計画の策定(県・市町・民間、2019)</li> <li>・十村駅の整備(県・市町・民間、2021)</li> <li>・丹後くろまつ号の小浜線運行(県・市町・民間、2019～2022)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美浜駅の整備(県・市町・民間、2021～)</li> <li>・デマンドバス等の実証運行(県・市町・民間、2021～)</li> <li>・コミュニティバスへのICOCA導入(県・市町、2022～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域バス、小浜線を補完するバス等の運行</li> <li>・レストランバスの運行</li> <li>・JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定</li> <li>・駅のバリアフリー化や待合環境整備の検討</li> <li>・京都北部との鉄道接続の強化</li> <li>・小浜線での観光列車の運行</li> </ul>

地域交通の軸となる小浜線の増便や時間短縮、バスとの接続強化などを通して、将来にわたって地域の移動手段として持続可能な交通ネットワークを構築するとともに、2024年春の新幹線開業効果を嶺南地域全体に波及させるための利便性の高い二次交通を整備します。

## ○嶺南地域公共交通網形成計画に基づき検討・実施する主な施策(R2～R6)【抜粋】

### 1 公共交通の利便性向上

- 小浜線の増便・利便性の高いダイヤの設定
- 敦賀～京都北部(舞鶴地区)間の時間短縮
- 小浜線を補完するバスの運行
- キャッシュレス化の推進
- AIやIoT等を活用した新モビリティサービスの導入等



JR小浜線

### 2 まちづくりと連携した施策の展開

- 駅周辺への都市機能・居住誘導
- 利用しやすい駅やバス停となるよう環境を整備

### 3 公共交通サービス情報の充実

- 嶺南地域の鉄道・バス等の路線全体が分かる乗り換えマップなどの作成
- 鉄道・バス・レンタサイクル等の一体的な乗り継ぎサービスの提供等

### 4 観光周遊手段の提供

- 嶺南の周遊観光に資する観光列車や特徴あるバス車両の運行
- 自転車による周遊の促進等



小浜線レンタサイクル

### 5 公共交通利用を促進する意識の醸成

- 地域住民、児童・生徒、事業所を対象としたモビリティ・マネジメント
- 沿線自治体による小浜線利用促進助成

### ○2023年度実施事業【福井県】

- ・小浜駅待合室等のリニューアルの支援  
(小浜駅利用環境整備支援事業 30,116千円)
- ・嶺南地域における移動手段確保等の取り組みを支援  
(嶺南地域公共交通充実支援事業 35,423千円)
- ・三方五湖エリアの広域バスの実証運行を支援  
(三方五湖エリア広域バス実証運行等支援事業 9,454千円)



# 産業基盤と地域交通ネットワーク

主体	県・市町	場所	エリア全域
事業費	約230億円～	期間	～2025

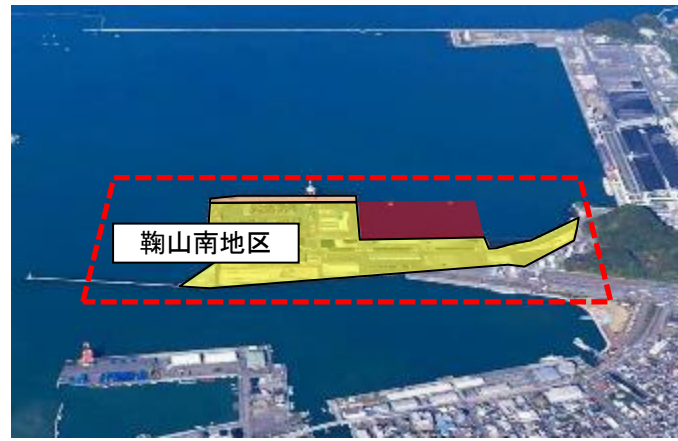
2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>舞鶴若狭自動車道の整備(民間、～2014)</li> <li>国道27号金山バイパスの整備(国、～2014)</li> <li>若狭美浜インター産業団地の整備(美浜町、～2016)</li> <li>スマートICの整備(敦賀市・若狭町・民間、～2017)</li> <li>敦賀市第2産業団地の整備(敦賀市、～2019)</li> <li>敦賀-博多新規航路開設(県、2019)</li> <li>敦賀港将来計画の策定(県、2019～2021)</li> <li>おおい町しごとみらい産業団地の整備(おおい町、～2022)</li> </ul>	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>敦賀港の新航路誘致</li> <li>敦賀港鞠山南地区の整備(国・県～2027)</li> <li>内浦港ふ頭用地の拡張(県、～2025)</li> <li>舞鶴若狭自動車道の4車線化(民間、2019～)</li> </ul>

舞鶴若狭自動車道全線開通などにより、嶺南地域は関西・中京との多重型の環状ルートが形成されています。この二つの大都市圏に最も近い日本海側の地域としての特性を活かし、敦賀港における国際物流の拡大や嶺南地域全体への企業誘致を促進します。

また、敦賀港の機能拡張と高速道路沿線の新たな産業団地の整備など、一体的な基盤整備を推進します。



若狭美浜インター産業団地(美浜町山上)



敦賀港鞠山南地区国際物流ターミナル(敦賀市)

○ 2023年度実施事業【福井県】

- 敦賀港鞠山南地区の整備  
(敦賀港鞠山南地区2期工事 461,100千円)
- おおい町しごとみらい産業団地整備の支援
- 敦賀港の利用拡大と新規航路誘致を促進

# Ⅱ-3 (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産の活用」

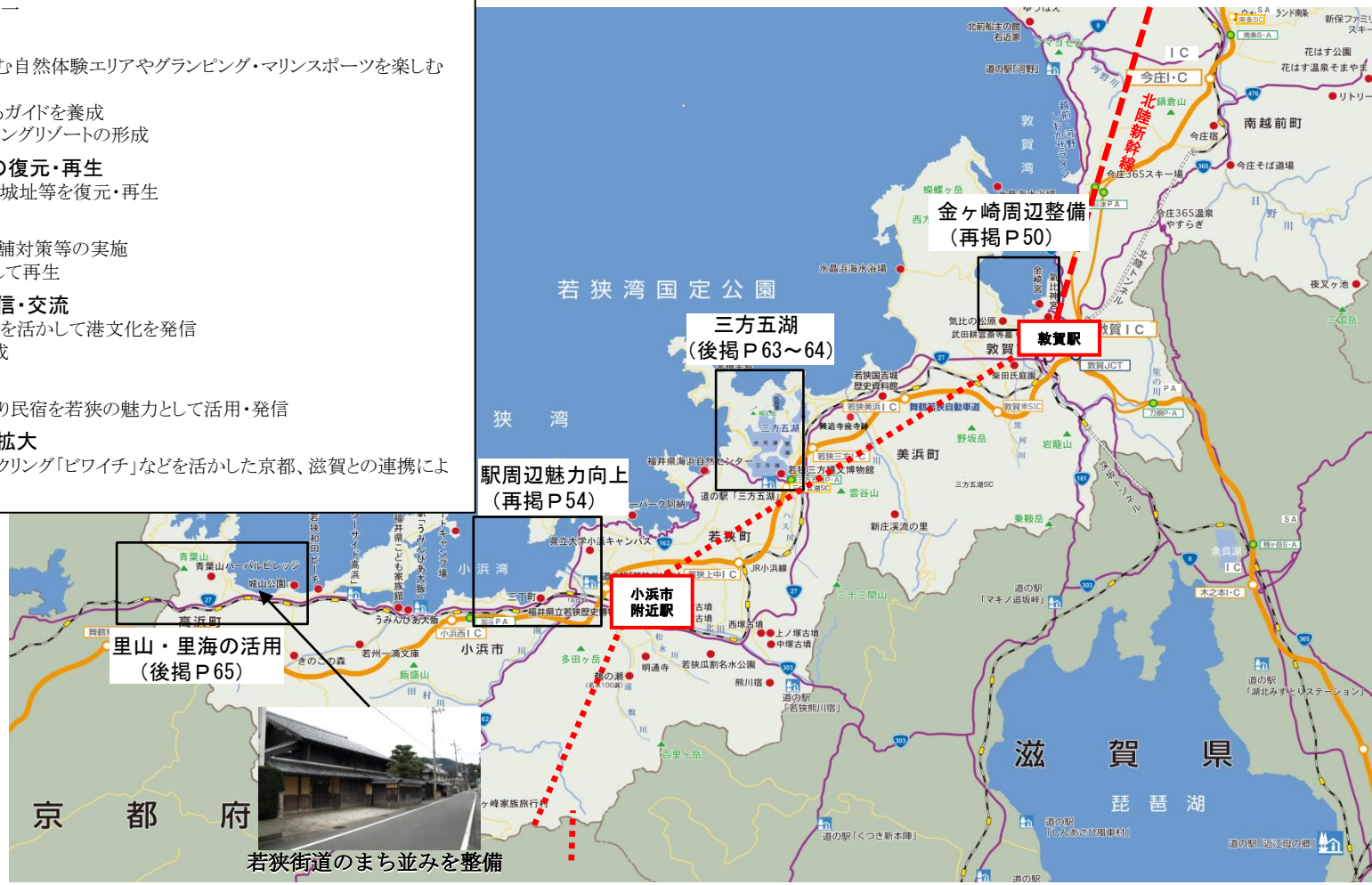
主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	未定

## ①海湖と歴史を活かした交流の拡大（交流人口）

敦賀に加え小浜にも新幹線駅ができ国内外から多くの人を訪れることを見込み、交流人口を拡大させるため、市町が力を合わせ、リアス海岸や三方五湖、北前船・鯖街道など、全国に誇る海湖と歴史を活かした観光の核を作り上げます。さらに、若狭湾エリアを中心に県境を越えて観光・交流エリアを拡大します。

### 【施策の方向性】

- 海湖と緑をつなぐ「若狭の風景」の形成**
  - ・ビュースポットを保全するルール策定
  - ・景観を害する看板除去や色彩統一
- 自然体験・リゾートエリアの形成**
  - ・自然学習やアクティビティを楽しむ自然体験エリアやグランピング・マリンスポーツを楽しむリゾートエリアの形成
  - ・海・湖の自然や歴史などを語れるガイドを養成
  - ・里海湖の景色を堪能するサイクリングリゾートの形成
- 歴史遺産や古くからのまち並みの復元・再生**
  - ・鉄道や港の歴史遺産や旧街道、城址等を復元・再生
- JR各駅の拠点機能の強化**
  - ・商店街のリノベーションや空き店舗対策等の実施
  - ・駅周辺を賑わいある交流の場として再生
- 日本遺産の北前船を活かした発信・交流**
  - ・船荷問屋の建物などの文化資産を活かして港文化を発信
  - ・他の寄港地と新観光ルートを形成
- 民宿集落の活性化**
  - ・民宿に泊まる仕掛けづくり等により民宿を若狭の魅力として活用・発信
- 県境を越えて観光・交流エリアを拡大**
  - ・鯖街道や鉄道、琵琶湖一周サイクリング「ピワイチ」などを活かした京都、滋賀との連携による広域周遊ルートの設定



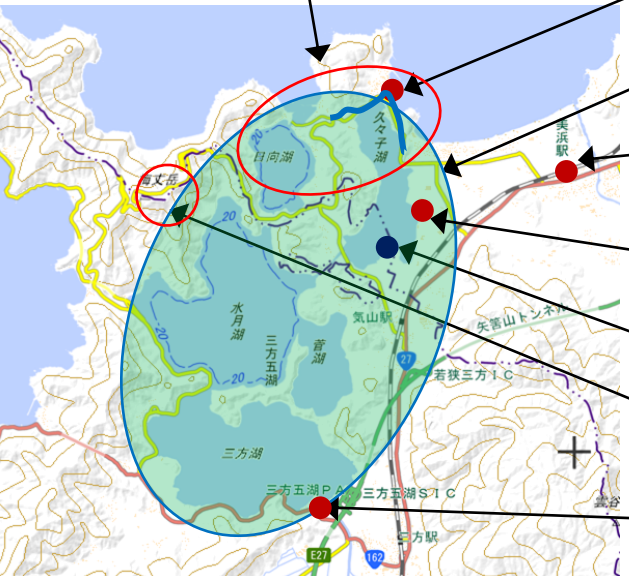
# 里湖の活用（三方五湖周辺エリア）

主体	県・市町・民間	場所	美浜町、若狭町
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅「三方五湖」の整備(県、2014)</li> <li>縄文ロマンパークの再整備(若狭町、2017)</li> <li>三方五湖スマートICの整備(若狭町・民間、2017)</li> <li>三方青年の家艇庫の整備(県、2015)</li> <li>年縞博物館の整備(県、2018)</li> <li>直売所・楽膳レストランの整備(美浜町、2018)</li> <li>日本農業遺産の認定(美浜町・若狭町、2018)</li> <li>「園芸LABOの丘」の整備(県、2019)</li> <li>農業人材育成拠点(観光農園)の整備(美浜町、2021)</li> <li>駅前線(美浜)の整備(県、2021)</li> <li>地域づくり拠点化施設(「若狭美浜はまびより(道の駅)」)の整備(美浜町、～2022)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自然学習・体験の充実による教育旅行の誘致</li> </ul>

三方五湖周辺の自然景観を整えるとともに、山頂公園や遊覧船の整備、サイクリングや自然体験プログラムを充実し、若狭湾エリアの周遊・滞在の拠点となる観光地をつくります。

○漁家民宿が集積する里海湖集落のにぎわい創出



- 美浜町レークセンター
- サイクリングロード、ウォーキングコース(後掲P64)
- 地域づくり拠点化施設(道の駅)
- 農業人材育成拠点施設(観光農園)
- 園芸体験施設「園芸LABOの丘」、健康楽膳拠点施設「こるぱ」(直売所・レストラン)の整備
- シジミ生息環境の整備(浅場造成)
- レインボーライン山頂公園(後掲P64)
- 年縞博物館、縄文ロマンパーク

○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・年縞博物館での特別展開催(年縞博物館特別展開催事業 2,379千円)
- ・里山里海湖の伝統的な人の営みや自然環境を学べる環境づくり(里山文化体験講座 476千円)
- ・市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業) 150,000千円の内数)



# 里湖の活用（三方五湖エリア活性化）

主体	県・市町・民間	場所	美浜町、若狭町
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レインボーライン山頂公園等の整備 (県・町・民間、～2019)</li> <li>・サイクリングロードの整備 (県・美浜町、～2019)</li> <li>・電池推進遊覧船の実証実験 (美浜町、～2020)</li> <li>・嶺南地域の結婚・婚活拠点の整備 (県・若狭町・民間、2021)</li> <li>・レインボーラインにおけるレストラン・売店等の整備 (県・町・民間、～2021)</li> <li>・電池推進遊覧船発着施設の整備 (県・美浜町、～2022)</li> <li>・サイクリングロード・ウォーキングコースの整備、サイクルツーリズムの推進 (県・美浜町・若狭町、2020～)</li> <li>・三方五湖有料道路の再整備・無料開放 (県、～2022)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設駐車場の混雑情報配信を支援 (県、美浜町、若狭町、民間 2023)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然学習・体験の充実による教育旅行の誘致</li> <li>・ナショナルサイクルルートの指定を目指したルート整備 (県、2021～)</li> </ul>

レインボーライン山頂公園など観光拠点をレベルアップするとともに、飲食・宿泊の魅力向上、周遊ツアーや体験メニューの充実を図ります。



レインボーライン山頂公園



電池推進遊覧船



サイクリングロード(イメージ)



嶺南地域の結婚・婚活拠点

- 2023年度実施事業【福井県】
  - ・観光拠点等のレベルアップを支援 (三方五湖エリア活性化支援事業 4,875千円)
  - ・魅力向上に向けた全体協議会や広報施策の展開 (三方五湖エリア魅力アップ推進事業 1,500千円)
  - ・三方五湖周遊ルートを中心とする若狭湾広域サイクリングルートの整備 (若狭湾サイクリングルート整備事業 78,011千円)
  - ・三方五湖の観光施設駐車場の混雑情報配信を支援 (三方五湖エリア広域バス実証運行等支援事業 519千円)
- 2023年度実施事業【市町】
  - ・レインボーライン山頂公園の光ファイバー整備【若狭町】 (稼ぐ観光地づくり推進事業 5,775千円)

# 里山と里海の活用（おい、高浜エリア）

主体	県・市町	場所	高浜町、おい町
事業費	約24億円～	期間	～2030頃

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハーバルビレッジの観光山野草園、ビジターセンターの整備(高浜町、2015)</li> <li>八ヶ峰家族旅行村の再整備(おい町、～2016)</li> <li>きのこの森体験学習施設の整備(おい町、～2017)</li> <li>頭巾山青少年旅行村の再整備(おい町、～2019)</li> <li>はまなすパーク施設整備(県、～2020)</li> </ul>		(※大阪開業頃までに実現を目指す施策) <ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンドにも対応したリゾートエリアの形成</li> <li>赤礁崎オートキャンプ場の魅力向上</li> <li>ブルーフラッグ認証ビーチの発信、誘客への活用(和田ビーチ)</li> <li>城山公園の再整備</li> <li>脇坂公園の整備</li> <li>中寄眺望広場の整備</li> <li>白浜グランピング施設の整備</li> <li>総合運動公園の合宿施設の拡充(おい町、～2025)</li> </ul>

ブルーフラッグビーチのアピールや、公園や宿泊施設等の整備により、自然学習や魚釣り・SUP・カヤック等のアクティビティを楽しむ自然体験エリア、グランピングやマリンレジャーを楽しむリゾートエリアをつくります。

公園宿泊施設の再整備



城山公園

ブルーフラッグビーチのアピール



若狭和田ビーチ

合宿施設の拡充



おい町総合運動公園

展示庭園や散策道等の整備



ハーバルビレッジ

頭巾山青少年旅行村の再整備



ホテル流星館



○2023年度実施事業【福井県】

- ・市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業) 150,000千円の内数)

○2023年度実施事業【市町】

- ・ブルーフラッグビーチの発信【高浜町】(観光振興事業 7,128千円)




# 都市との近接を活かした交流拡大

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県境の市町との交流ミーティングの開催 (県、2017～)</li> <li>・滋賀県・京都府との3府県連携観光促進協議会の設置(県、2016)</li> <li>・美浜町新庄地区のトレッキングコース整備 (美浜町、～2017)</li> <li>・西の鯖街道および「八ヶ峰～頭巾山」のトレッキングコース整備(高浜町、おおい町、～2019)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県や京都府と連携した日本遺産等を活用した観光誘客(県、2017～)</li> <li>・河内川ダムの周辺整備 (県・若狭町、2017～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北前船寄港地との広域観光拡大</li> <li>・コンベンションの誘致</li> </ul>

鯖街道の往来や北前船、鉄道、湖など共通のテーマにより観光エリアを形成し、大都市との近接を活かして県境を越えた大きな若狭湾エリア全体で人を呼び込みます。

○北前船  
・寄港地を巡る新観光ルートの検討



弁才船 (図説福井県史)



○鉄道遺産  
・旧北陸線トンネル群などを巡るツアーの実施



小刀根トンネル

○河内川ダムの周辺整備  
・山座熊川アウトドアベースの整備



イメージ図


○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・滋賀県や京都府と連携した観光誘客 (三府県連携観光促進協議会が事業実施)
- ・日本遺産を活用した誘客拡大 (ふくい日本遺産活用促進事業 4,300千円)
- ・市町の外国人観光客受入環境整備事業を支援 (北陸新幹線開業に向けたインバウンド対策事業 18,128千円の内数)

○ 2023年度実施事業【市町】


- ・鉄道遺産の活用による誘客【敦賀市、南越前町】
- ・鯖街道の活用による誘客【小浜市】  
京都レストランと連携した小浜よっぱらいサバの特別メニュー提供(1,650千円)  
御食国まち歩きマルシェ開催による観光誘客(3,000千円)
- ・河内川ダムの周辺整備【若狭町】  
(稼ぐ観光地づくり推進事業 109,280千円)

○西の鯖街道  
・旧街道を体験するウォーキング等の実施



西の鯖街道

○鯖街道  
・周遊モデルルート開発  
・鯖街道まちづくり連携協議会との連携



鯖街道体験ウォーキング

# Ⅱ-3 (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	未定

## ②若狭フード・コーストの形成（特徴発揮）

古来から御食国として都の食を支えた若狭の伝統的な食の加工技術と、ICTにより生育環境を制御する園芸施設など最新テクノロジーの双方が融合する食産地を形成し、エリアの経済・雇用を支える産業に成長させます。

**【施策の方向性】**

**伝統技術を活かした食品加工産業の集積**

- ・へしこや梅干し等、伝統的な保存・加工技術を活かした食品加工産業を集積

**園芸の一大産地化**

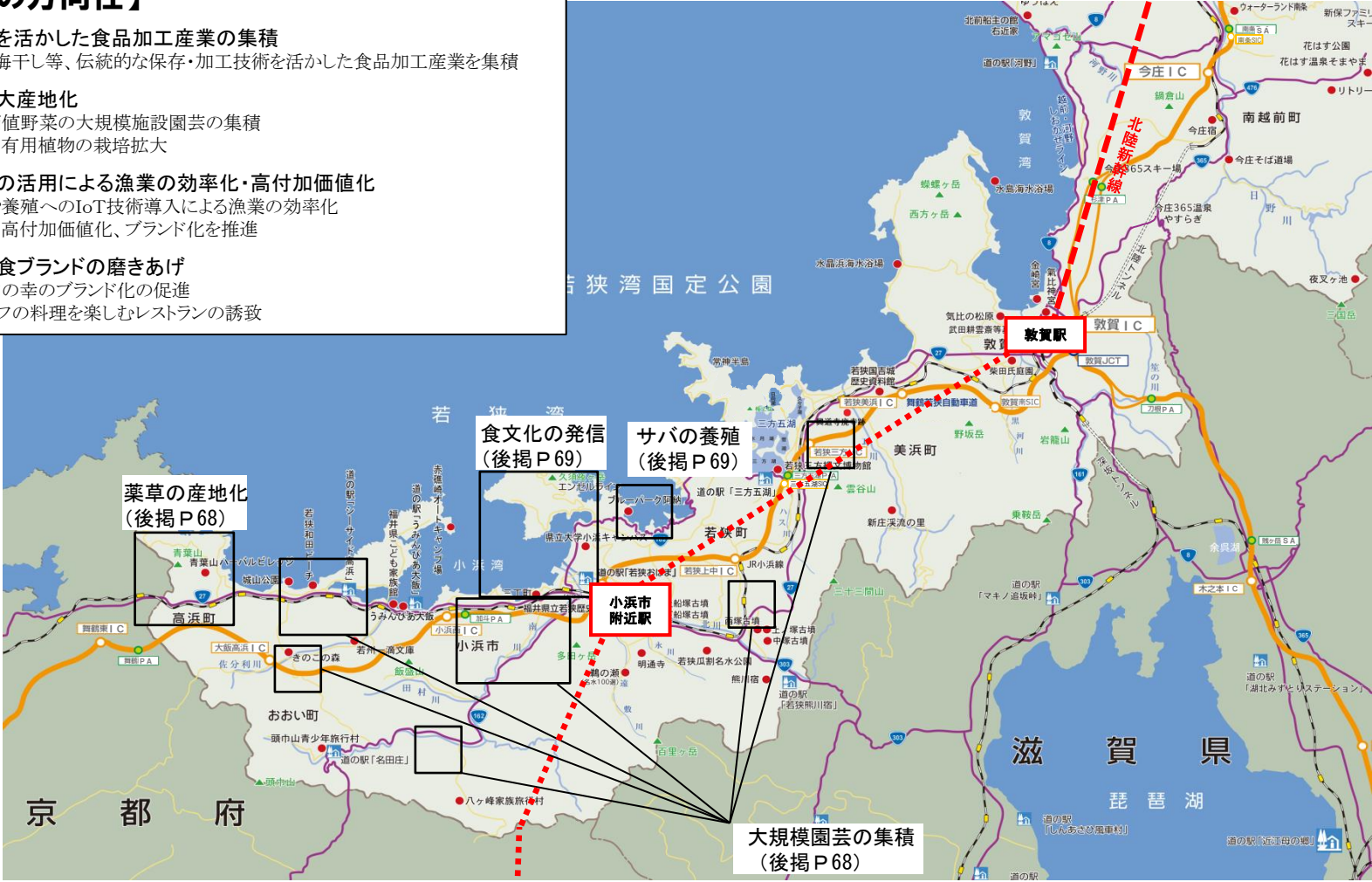
- ・高付加価値野菜の大規模施設園芸の集積
- ・菓草等の有用植物の栽培拡大

**先端技術の活用による漁業の効率化・高付加価値化**

- ・定置網や養殖へのIoT技術導入による漁業の効率化
- ・水産業の高付加価値化、ブランド化を推進

**御食国の食ブランドの磨きあげ**

- ・海・湖・山の幸のブランド化の促進
- ・一流シェフの料理を楽しむレストランの誘致





# 園芸の一大産地化

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーバルビレッジの観光山野草園、ビジターセンターの整備 [P65再掲]</li> <li>・薬草加工施設等の整備 (高浜町、～2018)</li> <li>・大規模園芸施設の整備 (県・市町・民間、2014～2019)</li> <li>・植物工場の整備 (県、小浜市、2019～)</li> <li>・観光農園の整備 (県、美浜町、～2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光農園の整備 (県、南越前町、2022～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物工場の整備 (県・市町、2019～)</li> <li>・スマート園芸施設の整備 (県・市町、2020～)</li> </ul>

ICTを活用したスマート園芸施設の導入による周年栽培野菜の産地を形成するとともに、薬草の生産拡大や加工販売等による有用植物の産地化、観光農園の整備などを進め、園芸の一大産地を形成します。

### ○スマート園芸施設による周年栽培の拡大

- ・ICTを活用し、環境データに基づく高度環境制御栽培施設の整備
- ・トマトやキュウリ等の周年栽培の拡大



ミディトマトを栽培するスマート園芸施設

### ○薬草の産地化

- ・育苗・加工施設の整備
- ・薬草の展示施設の整備
- ・漢方薬の原料となる薬草の栽培



薬草加工施設

### ○2023年度実施事業【福井県】

- ・スマート園芸導入に係る初期の経営安定化対策 (スマート施設園芸拡大推進事業 274,465千円の内数)
- ・観光農園の整備に係る費用を支援 (農山漁村交流人口拡大施設整備事業 11,389千円)

### ○2023年度実施事業【市町】

- ・薬草商品開発等、薬草産地化を促進【高浜町】 (薬草産地化推進事業 13,556千円)

### ○オールシーズン楽しめる果実産地の形成

- ・イチゴやブドウなどの観光農園の整備



### ○園芸の体験・学習施設の整備 (P65再掲)

- ・園芸研究センターに野菜や果物の調理および科学体験施設やレストラン・直売所等を整備



園芸体験施設「園芸LABOの丘」 (美浜町)

### ○植物工場の立地促進

- ・植物工場の参入企業の誘致
- ・人工光型植物工場の整備



# 水産業の高付加価値化・ブランド化

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>水産加工施設(敦賀市)の整備(民間、~2015)</li> <li>熟成魚等の生産加工施設整備(美浜町・民間、2016)</li> <li>食文化館の再整備(小浜市、2014)</li> <li>旧田鳥小学校を活用した加工・体験施設の整備(小浜市、~2019)</li> <li>ふくい水産振興センターの整備(県、~2019)</li> <li>「若狭ぐじ」や「越前がれい」のプレミアムブランドを創出(県・市町・民間、2020)</li> <li>「ふくい甘えび」のブランド化(県・市町・民間、2021)</li> <li>6次産業施設「UMIKARA」の整備(高浜町、~2021)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高浜漁港の再整備(高浜町、~2023)</li> <li>福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備(県、2020~)</li> <li>養殖イワガキのブランド化(県、~2023)</li> <li>ウナギ漁獲量拡大に向けた放流調査(県、~2023)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若狭まはたやふくいサーモン、イワガキの養殖生産の拡大</li> <li>水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」の整備</li> <li>シジミやウナギの漁獲量の拡大(※大阪開業頃までに実現を目指す施策)</li> <li>陸上養殖の実現</li> <li>IoTを活用した鯖養殖の効率化</li> <li>カキ養殖に係る新技術の導入</li> <li>京都レストランと連携した小浜よっぱらいサバの特別メニューの提供</li> </ul>

新技術を活用した養殖生産の拡大と天然資源の持続的利用を進めるとともに、IoTやAIの活用による漁業の効率化、ブランド化による商品価値の向上・販路拡大等により漁業の高付加価値化を図ります。

## ○養殖の振興、販路拡大

- マハタ養殖技術の普及、販路拡大
- ふくいサーモンの養殖生産の拡大
- IoTやAIの活用による鯖養殖の効率化



## ○6次産業化の推進

- 加工用機器を整備し、漁業者グループによる地魚加工品の販売を拡大
- 高浜漁港に地魚売り場やレストランを整備



地魚売り場

## ○地魚の戦略的販売

- プレミアムブランド「若狭ぐじ極」、「越前がれい極」「若狭まはた」「ふくい甘えび」の認知度向上
- 嶺南のブランド魚(フグやマダイ)を取扱う嶺北の店舗を拡大
- サーモンや甘えび、カキをブランド化し、販路を拡大



若狭ぐじ



越前がれい

## ○2023年度実施事業【福井県】

- 福井県立大学新学科棟の整備(県立大学先端増養殖科学科開設事業 1,356,531千円)
- ふくい水産振興センターを活用した共同研究の推進(トラウトサーモン共同研究事業 2,531千円、「若狭の鯖」養殖技術の最適化研究 2,000千円、イワガキ養殖技術開発 2,577千円)
- ブランド魚の販路拡大、養殖生産の拡大(マハタ種苗生産事業 16,384千円)(福井県イワガキブランド化事業 576千円)
- 養殖業の生産拡大を支援(養殖業生産拡大支援事業 4,666千円(債務負担額))

## ○2023年度実施事業【市町】

- IoT等、最新技術を活用した養殖【小浜市】(「鯖、復活」養殖技術開発事業 5,900千円)(小浜よっぱらいサバ販売促進支援事業 1,500千円)(かき養殖新技術導入プロジェクト 1,359千円)
- 高浜漁港の再整備【高浜町】(高浜漁港再整備事業 15,400千円)

# Ⅱ-3 (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用

主体	県・市町・民間	場所	敦賀市・若狭町
事業費	未定	期間	継続実施

## ③自然環境の活用とエネルギー開発の共立（学術・研究の拠点戦略）

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー研究開発拠点化計画の推進(県・国・民間・大学等、2005～2019)</li> <li>・里山里海湖研究所の設置(県、2013～)</li> <li>・国際原子力工学研究所の敦賀市への移転(福井大学、2012～)</li> <li>・アジア原子力人材育成会議の開催(2010～)</li> <li>・年縞博物館の整備(県、～2018)</li> <li>・ハーモニアスポーツ構想の策定(敦賀市、～2018)</li> <li>・次世代エネルギーパークの認定(県、～2020)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺南Eコースト計画の推進(県・国・民間・大学等、2020～)</li> <li>・エネルギーの多元化に向けた研究開発の支援(敦賀市、2018～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際シンポジウムの誘致(※大阪開業頃までに実現を目指す施策)</li> <li>・新たな試験研究炉の整備に着手(国)</li> </ul>

環境保全と原子力・エネルギー開発に同時に貢献する若狭湾エリアにおいて、世界的な価値をもつ水月湖年縞の研究・教育拠点や世界の人材育成・技術開発に貢献する原子力・エネルギー等の中核的研究開発拠点を形成し、国内外から研究者や学生が集まる研究エリアをつくります。



○ 2023年度実施事業【市町】

- ・エネルギーの多元化に向けて民間企業の研究開発を支援【敦賀市】

新たな試験研究炉





主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

## Ⅱ-3 (3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致

### ① まちづくりや産業のプレイヤーの育成（人材育成）

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸カレッジの開講(県、2014～)</li> <li>・かみなか農楽舎の開設(旧上中町・民間、2004～)</li> <li>・漁業集落の活性化(県・市町、2018～)</li> <li>・福井県立大学創造農学科の開設(県、～2020) [P23再掲]</li> <li>・農業人材育成拠点の整備(美浜町、～2021)</li> <li>・チャレンジショップの整備(おおい町、～2022)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御食国 食の学校における食関連産業の担い手育成(小浜市、2020～)</li> <li>・福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備(県、2020～) [P69再掲]</li> <li>・観光地域づくりプレイヤーの育成(県、2021～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産学術産業拠点において育成した人材の地元定着(県、2022～)</li> <li>・水産カレッジの開講(県、2015～)</li> </ul>

農林水産や観光などで、自らのまちを自らの手で元気にする人を増やすとともに、若狭湾エリアで新しい地域づくりやビジネスにチャレンジする人材を外から呼び込みます。

#### ○地域全体で漁業集落を活性化

- ・漁業体験等のメニューの充実化等により、地域全体で誘客を促進



教育旅行での漁業体験

#### ○農業や水産業等の人材を育成

- ・新規就農者への研修や農業インターンの受入れ(かみなか農楽舎、おおい町一次産業活動拠点施設)
- ・園芸カレッジにスマート園芸コースを設置
- ・水産カレッジで漁船漁業や養殖等の座学や実習を実施
- ・漁師塾での新規就業希望者を支援
- ・福井県版DMOが観光地域づくりプレイヤーを支援

#### ○大学との連携による漁村の交流拡大

- ・改修した廃校を拠点に、漁業体験や地元との交流イベント等を大学と連携して実施



学生による海岸清掃

#### ○都市部の若者と地域が連携して課題を解決

- ・地域の活性化に向けた課題や地域資源の活用等について検討し、解決策を実行

#### ○2023年度実施事業【福井県】

- ・園芸カレッジや水産カレッジでの研修(農林水産業を支える人材育成 42,251千円の内数)
- ・園芸人材育成拠点(研修施設)の整備を支援(地域で育てる園芸人材サポート事業 8,000千円)
- ・観光地域づくりプレイヤーを育成(DMOによる観光地域づくり推進事業 170,570千円)
- ・水産学術産業拠点において育成した人材の地元定着(養殖業生産拡大支援事業 4,666千円(債務負担額))

#### ○2023年度実施事業【市町】

- ・水産業の新規就業希望者への知識・技術等の習得を支援【小浜市】(小浜漁師塾研修支援事業 563千円)
- ・食や農業・農村の担い手を育成【小浜市】(御食国 食の学校 29,361千円)
- ・若者の移住・起業を支援【若狭町】(わかさりノベーション活性化事業 1,000千円)
- ・都市部の若者が地域の課題を検討【若狭町】(若狭暮らしと起業支援事業 1,500千円)

#### ○UIターン者や若者の創業を応援

- ・うみんぴあ大飯内にチャレンジショップを整備し、若者の起業を促進



うみんぴあ大飯



主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	～2030頃

# Ⅱ-3 (3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致

## ②都市との交流を通じたライフスタイル先進地の形成 (定住戦略)

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>三丁町や旧丹後街道の街路整備、電線地中化等の実施(小浜市、～2017)</li> <li>熊川宿にシェアオフィス「菱屋」を整備(若狭町・民間、2017)</li> <li>移住交流体験施設や体験農園の整備(美浜町、～2017)</li> <li>敦賀市立看護大学に大学院・助産学専攻科を設置(敦賀市、2018～)</li> <li>こども家族館のリニューアル(県、～2022)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>熊川宿の古民家改修(若狭町、2017～)</li> <li>IT・サービス業などの企業誘致(県、2018～)</li> <li>住民と地域内外の大学生との協働による地域づくりプロジェクト(小浜市、2020～)</li> <li>メガソーラーや水素ステーションを活用したVPP実証(県、2021～)</li> <li>VPPと連動したEVカーシェア実証(県、2020～)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートタウン等の整備(県・市町、2021～) (※大阪開業頃までに実現を目指す施策)</li> <li>駅に近接した子育て支援施設や医療機関等の整備</li> <li>嶺南地域における「スマートエリア」の形成</li> </ul>

都市部を離れ、子育て環境がよく自然が豊かな嶺南地域に居住する人向けに、古民家リノベーションや体験農場整備により、憧れの生活エリアを形成するとともに、ITやサービス業など多様な業種の県内進出の促進、空き家等を活用したサテライトオフィスの誘致などにより、クリエイティブに働くエリアをつくります。

### ○重伝建地区での交流施設の整備

- 熊川宿の古民家シェアオフィス、ホテル、ショップ等に改修



古民家を改修したシェアオフィス

### ○移住交流体験施設や体験農園の整備

- 古民家を改修した移住・交流体験施設や隣接する体験農園の整備



移住居住体験施設「黄舎」(美浜町)



美浜東美し野いきいき農園(美浜町)

### ○VPP (仮想発電所) 実証

- シェアEVを活用した実証実験



シェアEV

### ○スマートタウンの整備

- スマートエリア推進補助金による支援事業



高浜町 スマートエリア(イメージ)

○ 2023年度実施事業【福井県】

- 熊川宿重要伝統的建造物群保存地区の建造物等の修理への支援(重要伝統的建造物群保存地区整備事業補助金交付事業 2,000千円)
- 本社機能の誘致やU・Iターン者の雇用促進(企業誘致補助金)
- サテライトオフィスの誘致(28P再掲)
- VPPと連動したEVカーシェア実証・嶺南スマートエリア推進補助金等によるスマートエリアの形成(嶺南スマートエリア推進事業 131,561千円)

○ 2023年度実施事業【市町】

- 熊川宿の民家の修理・修景を支援【若狭町】(熊川保存整備事業 3,718千円)

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	～2030頃

# 嶺南Eコースト計画の推進

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー研究開発拠点化計画の推進 (県・国・民間・大学等、2005～2019)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嶺南Eコースト計画の推進 [P70再掲]</li> <li>メガソーラーや水素ステーションを活用したVPP実証 [P72再掲]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートタウン等の整備 [P72再掲] (※大阪開業頃までに実現を目指す施策)</li> <li>新たな試験研究炉の整備に着手(国)</li> <li>嶺南地域における「スマートエリア」の形成</li> </ul>

嶺南Eコースト計画に基づき、嶺南地域を中心に、原子力をはじめ再エネを含む様々なエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくりを目指すことにより、人・企業・技術・資金(投資)が集まるエリアの形成を図ります。

[嶺南Eコースト計画が目指す嶺南地域の将来像]

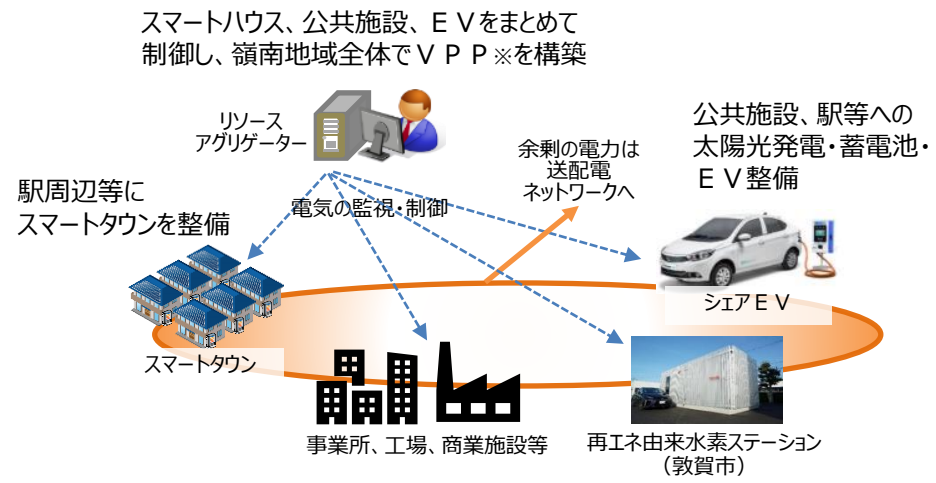
### ○原子力関連研究の推進および人材の育成拠点の形成

敦賀エリアを中心に、国内外の大学・企業・研究機関から幅広い人材が集まる、新たな試験研究炉を活用した最先端の研究開発・人材育成の拠点を形成することにより、地域を活性化



### ○様々なエネルギーを活用した地域振興

嶺南地域に、便利で災害にも強く、環境にもやさしいスマートエネルギーエリアを創出。地域全体の付加価値が高まり、文化的・健康的に暮らせるライフスタイル先進地「WAKASAリフレッシュエリア」の実現に繋げる



※VPP(バーチャルパワープラント:仮想発電所)  
多数の小規模な発電所や、電力の需要抑制システムをまとめて制御すること